

自分の身は自分で守る!

～「何とかなる」そう思っていないませんか?～

南海トラフ地震が発生した場合、津波による淀川区内の死者が約14,000人と想定されていますが、迅速な避難により大幅に軽減することができます。そのためにも自らのことは自らで守り、地域において互いに連携し協力し合うことが大切です!!



考えてみよう!



自助

自分(家族)の命を
自分(家族)で守る

- 阪神・淡路大震災の死因は、家屋の倒壊や家具の転倒による圧迫死が大半を占めました。
- 被害を小さくするためには日ごろからの備えが大切です!身の回りの安全について家族で考えてみましょう。



共助

地域の皆さんで
お互いに助け合う

- 阪神・淡路大震災の被災地では市民が協力して、消火活動にあたりたり、がれきの中から多くの方を救助した経験から、人はいざという時にはお互いに助け合わなければ生きていけないことを学びました。
- 地域の皆さんと一緒に地区防災計画について考えてみましょう。



公助

国や市の
行政機関による対策

- 大阪市防災アプリ
避難ルートの確認や、家族との安否確認なども素早くできます。



- 市民防災マニュアル
 - 淀川区防災マップ (区役所で配)
- 淀川区内の災害避難場所や津波避難ビルを確認できます。